



野外博物館

# 北海道開拓の村





HISTORICAL VILLAGE OF HOKKAIDO



●先達のくらしが息づく里●



# 《開拓の村》

-  食堂
-  軽食堂
-  休憩所
-  お手洗い

## 漁村群

**漁村群**

- 34 廊下(舟倉)
- 35 旧移
- 32 旧土谷家はねだし
- 33 旧青山家漁家住宅
- 12 旧龍雲寺
- 17 旧浦河公会会堂
- 27 旧本
- 16 旧渡辺商店
- 11 旧北海中学校
- 15 旧山本理髪店
- 26
- 7 旧有島家住宅
- 14 旧鳥歌郵便局
- 13 旧札幌警察署南一条巡査派出所
- 25 旧太田装飾所
- 29
- 6 旧松橋家住宅
- 10 旧開拓使工業局庁舎
- 24 旧大石三省堂支店
- 5 旧福士家住宅
- 9 旧小樽新聞社
- 23 旧武岡商店
- 4 旧開拓使爾志通洋造家
- 8 旧浦河支庁庁舎
- 21 旧近藤医院
- 28 旧広瀬写真館
- 3 旧手宮駅長官舎
- 20 旧武井商店酒造部
- 19 旧三日月本そば屋
- 18 旧来正旅館
- 22 旧近藤染舖
- 1 旧札幌停車場(管理棟)
- 2 旧開拓使札幌本庁舎(ビジターセンター)
- 18 旧来正旅館
- 22 旧近藤染舖
- 50 森林鉄道
- 30 旧札幌農学校寄宿舎(恵迪)
- 31 旧札幌師範学校武道

**市街地群**

馬車鉄道

入口広場

海

# 案内図



開拓小屋



旧近藤染舖



旧小川家酪農畜舎



旧青山家漁家住宅



旧福士家住宅



馬車鉄道

**農  
村  
群**

④ 旧菊田家農家住宅  
新海町の北越地民社の一員として  
移住し、野幌原野を開拓した菊田  
常吉の農家住宅です。  
(江別市 明治26年築 木造2階建)

**山  
村  
群**

① 開拓小屋  
跡地調査とともに開拓小屋や開  
墾小屋と呼ばれる仮住居を建て  
て開墾に従事しました。

② 炭焼小屋  
北海道は国内有数の木炭生産地  
で、主に黒炭が生産されました。  
副業製炭業者の角家を再現しま  
した。  
(大正後期)

③ 森林鉄道機関庫  
機関庫は保管及び整備のための  
施設。森林鉄道は木材の安定かつ  
大量輸送を可能にしました。  
(大正後期 木造平屋建)

⑤ 旧平造材部飯場  
伐木や造材に携わった山子や、新  
出し、馬廻いなどが山中で宿泊ま  
りした造材飯場を再現しました。  
(下川町 大正後期 木造平屋建)

**開拓の村の活動**

■ 催し物  
暮らしの中ではくくまれた、お祭りや郷土芸能・年中行事・職人の技の実演などを季節に合わせて催します。開拓の村の四季ともにお楽しみ下さい。

■ 昔の遊び  
体験学習棟とこどもの広場では「あそぶ」「つくる」をテーマに昔の遊びや遊具づくりを行うことができます。

■ 歴史学習のお手伝い  
季節におうじてボランティアのかたが展示解説や演示活動を行っています。お気軽に声をおかけください。質問などはビジターセンター内総合案内でもお受けしています。

■ 開村時間  
午前9時00分から午後4時30分(入村は午後4時まで)  
ただし、5月から9月午前9時から午後5時(入村は午後4時30分まで)

■ 休 村 日  
毎週月曜日(ただし祝日・振替休日の場合は翌日が休村となります。)  
※5月1日から9月30日までの毎月曜日は開村します。  
年末年始(12月29日～1月3日)

■ 入 村 料

区 分	夏期(4月～11月)		冬期(12月～3月)	
	個 人	10人以上の団体	個 人	10人以上の団体
一 般	830円	680円	680円	550円
高校生・大学生	610円	550円	550円	480円

※中学生以下の方、65歳以上の方、障がいのある方は無料です。  
高校生は次の場合は無料です。  
・土曜日、子どもの日、文化の日に利用する個人・10人以上の団体。  
・教育(学校・生涯学習)を目的として利用する10人以上の団体(通年)。

●車椅子・ベビーカーも貸し出ししております。

■ 馬車鉄道(夏期)・馬そり(冬期の土・日・祝日・さっぽろ雪まつり期間中)乗車料  
小人(3歳以上15歳未満)ー130円、大人(15歳以上)ー270円

**交 通**

**ジェイ・アール北海道バス**

札幌駅発、新札幌・森林公園駅経由  
「開拓の村」行き(札幌駅から約50分)

**地下鉄**

東西線新さっぽろ駅下車、「ジェイ・アール北海道バス」乗りかえ約15分

**JR北海道**

千歳線新札幌駅下車「ジェイ・アール北海道バス」乗りかえ約15分、または函館本線森林公園駅下車、「ジェイ・アール北海道バス」乗りかえ約5分



**駐車場(400台収容)**

乗 用 車ー1日1回300円  
バ スー1日1回620円  
自 動 二 輪 車ー1日1回200円

●冬期間(11月ははじめ～翌年4月ははじめまでは無料開放いたします。)

**財団法人 北海道開拓の村**

〒004-0006 札幌市厚別区厚別町小野幌50番地-1  
TEL(011)898-2692・FAX(011)898-2694、テレフォンサービス(011)898-1000  
ホームページアドレス <http://www.kaitaku.or.jp>  
メールアドレス [info@kaitaku.or.jp](mailto:info@kaitaku.or.jp)



# 市街地群

- ① **旧札幌停車場(管理棟)**  
札幌の表玄関として明治41年から昭和27年まで親しまれた建物を再現しました。  
(札幌市 明治41年)
- ② **旧開拓使札幌本庁舎(ビクターセンター)**  
明治12年焼失した庁舎の外観を再現しました。内部は綜合案内、研修室、講堂、休憩室があります。  
(札幌市 明治6年)
- ③ **旧手宮駅長官舎**  
手宮は、北海道鉄道発祥の地。大正時代の駅長家族の生活を展示しました。  
(小樽市 明治17年 木造2階建)
- ④ **旧開拓使副官通洋造家**  
開拓使官舎用の米田中西部の初期の様式を取り入れた住宅。壁の色から「白官舎」と呼ばれました。  
(札幌市 明治11年 木造2階建)
- ⑤ **旧福土家住宅**  
北海道の開拓に貢献した福土成善の家。洋風建築と和風建築が連続した特異な建物です。  
(札幌市 明治時代 木造2階建)
- ⑥ **旧松橋家住宅**  
土地会社を経営した松橋家の住宅。部屋数が多く、多人数家族の暮らしを知ることができます。  
(札幌市 明治30年 木造2階建)
- ⑦ **旧有島家住宅**  
“生まれ出する福み”の有島武郎が住んだ家。奥座敷に書斎を再現しました。  
(札幌市 明治37年 木造2階建)
- ⑧ **旧浦河支庁庁舎**  
地方行政の中心にふさわしい威容。大正時代の支庁庁舎と地方行政のあゆみを展示しました。  
(滝川町 大正8年 木造2階建)
- ⑨ **旧小樽新聞社**  
札幌軟石を使った木骨石貼り構造の3階建ての建物。明治の新報人の誇りを感じさせてくれます。  
(小樽市 明治42年 木骨石造3階建)
- ⑩ **旧開拓使工務局庁舎**  
建設・製造事業など本道の開拓をすすめた庁舎。開拓使の業績について展示しました。  
(札幌市 明治10年 木造2階建)
- ⑪ **旧北海中学校**  
建立されて以来、多くの人材を輩出した私立中学校。モダンな洋風建築校舎です。  
(札幌市 明治42年 木造平屋建)
- ⑫ **旧龍雲寺**  
村民の努力により創造された浄土宗の寺。寺院建築の様式がよくあらわれています。  
(札幌市 明治26年 木造平屋建)
- ⑬ **旧札幌警察署南一条通査査派出所**  
「赤レンガ文庫」として札幌市民に親しまれ、昭和46年まで街の治安を守ってきた建物です。  
(札幌市 明治44年 レンガ造平屋建)
- ⑭ **旧鳥取郵便局**  
明治19年より郵便の取扱い所として、地域に大きな役割を果たしてきた郵便局です。  
(釧路町 明治35年 木造2階建)
- ⑮ **旧山本理髪店**  
札幌で大正末期から昭和61年まで多くの人の髪を剪った理髪店。建物に洋風の意匠がみられます。  
(札幌市 大正後期 木造2階建)
- ⑯ **旧渡辺商店**  
砂金掘りで賑わった中頓別市街に建てられた雑貨店。耐火・耐震に優れた漆喰土蔵造りの建物です。  
(中頓別町 大正前期 木造2階建)
- ⑰ **旧浦河公会会堂**  
結社移民として入植した人々により建てられた礼拝・集会所。開拓期の教会のようすを展示しました。  
(滝川町 明治27年 木造2階建)
- ⑱ **旧来正旅館**  
旅人の宿泊や汽車などの乗物の待合に利用されてにぎわった、旅館兼待合所です。  
(旭川市 大正8年 木造2階建)
- ⑲ **旧三ツ河本そば屋**  
石川原から移住した河本徳松が三ツ河の蕎麦を継いだ店。耐火・耐震や宴会の場としてにぎわいました。  
(小樽市 明治42年頃 木造2階建)
- ⑳ **旧武井商店酒造部**  
酒造業を営み雑貨などを扱った店舗兼住宅。地元で親しまれた清酒「松の露」「玉の川」がありました。  
(泊村 明治19年 木造2階建)
- ㉑ **旧武岡商店**  
米穀・雑貨・炭物などを扱ってきた商家。玄関の半円ひさしなどに洋風の意匠がみられます。  
(静内町 明治31年 木造平屋建)
- ㉒ **旧藤原車機製作所**  
宮大工、藤原吉吉が車機製作所を開業し、3代にわたり営業した作業場と、店舗兼住宅です。  
(釧路市 明治36年 木造平屋建)
- ㉓ **旧札幌拓殖倉庫**  
札幌軟石を使った木骨石造りの倉庫。開拓期の農産物の集積に大きな役割を果たしました。  
(札幌市 明治40年 木骨石造平屋建)
- ㉔ **旧近藤染舖**  
明治31年に創業した、旭川で最も古い染物店。当時の店舗建築の特徴を見ることが出来ます。  
(旭川市 大正2年 木造2階建)
- ㉕ **旧太田装飾所**  
昭和20年まで国道12号線沿いで営業した装飾屋。馬が物資運搬や農耕の主力の時代には賑わっていました。  
(札幌市 大正前期 木造平屋建)
- ㉖ **旧広瀬写真館**  
昭和33年まで営業した写真館。2階は自然光での撮影のため、ガラス張りの写真室となっています。  
(西貝沢市 大正13年 木造2階建)
- ㉗ **旧札幌師範学校武道場**  
北海道教育大学教育学部札幌校の前身。師範学校では早くから武道を重視し、全生徒は柔道か剣道を履修しました。  
(札幌市 昭和4年 木造平屋建)

# 漁村群

- ㉘ **旧土谷家はねだし**  
漁家が海岸部に設置した倉。魚貝や魚粕、身欠きニシン、魚の子などの加工品を収納しました。  
(旭石町 明治20年頃 木造平屋建)
- ㉙ **旧秋山家漁家住宅**  
日本海に浮かぶ島尻島で3代にわたって、ニシン刺網漁と獲り漁を営んだ漁家です。  
(泊村町 大正9年 木造平屋建)
- ㉚ **旧青山家漁家住宅**  
母家・親戚・米倉などを7棟の施設をもち、小樽沿岸で鱈漁を営んだ大きな漁家です。  
(小樽市 母家→大正8年 木造平屋建)
- ㉛ **旧下(船倉)**  
漁期はニシン。漁期後は船や大型漁具を収納しました。壁の漆とし板構造は、作業のための工夫です。  
(明治→大正期 木造平屋建)

# 農村群

- ㉜ **旧山本消防組番屋**  
消防用具の納庫。火の見桶を持つ番屋は、農漁村の小規模な消防組織に多くみられました。  
(札幌市 大正後期 木造平屋建)
- ㉝ **旧田村家北城館種殖製造所**  
種を生産して農産物に出荷する特殊農家。養蚕の部屋や貯蔵室を再現しました。  
(浦臼町 明治38年 木造2階建)
- ㉞ **旧山田家養蚕板倉**  
屯田兵として入植した山田家が建てた、養蚕施設です。屯田兵の投擲事業として養蚕が奨励されました。  
(札幌市 明治14年頃 木造平屋建)
- ㉟ **旧河西家米倉**  
長野県から移住した河西家の倉を再現。農機具や収穫物の収納に用いられました。  
(札幌市 明治30年頃 木造平屋建)
- ㊱ **旧若狭家たたみ倉**  
農家や漁家が家具、調度、農具、漁具などの収納に用い、住居から離れた河岸丘陵によく置かれました。  
(上ノ国町 江戸時代末期 木造2階建)
- ㊲ **旧ソークシュオマベツ駅事務所**  
荷物の搬送や郵便・宿泊などの業務を行っていました。大正末期の駅通のようすを再現しました。  
(喜茂別町 明治40年頃 木造平屋建)
- ㊳ **旧農商務省滝川種羊場機械庫**  
滝川畜産試験場の機械庫を再現。農業発展に重要な役割を果たした農機具などが展示されています。  
(滝川市 大正10年 木造平屋建)
- ㊴ **旧納内屯田兵屋**  
北辺の警備と農業開拓に従事した屯田兵の住宅。兵村での家族の暮らしを再現しています。  
(栗山町 明治28年 木造平屋建)
- ㊵ **旧岩間家農家住宅**  
宮城県より土族移民として入植した焼作農家。故郷の建築様式を愛用しています。  
(伊達市 明治15年 木造平屋建)
- ㊶ **旧信濃神社**  
長野県から移住してきた人々により建立された神社。人々の心のよりどころとして祀られてきました。  
(札幌市 明治30年 木造流れ造り)
- ㊷ **旧磯口家農家住宅**  
富山県から移住した水田農家。同郷の工によって建てられた富山様式の建物です。  
(札幌市 明治30年 木造平屋建)
- ㊸ **旧小川家農家倉庫**  
札幌農学校出身の小川三策がアメリカの建築を参考にした農産倉庫。バルーンフレーム構造が特徴です。  
(札幌市 大正後期 木造2階建)

